

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宮崎機械システム株式会社 本社増	階数	地上4F
建設地	大阪府貝塚市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	113 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年9月20日
敷地面積	2,515 m <sup>2</sup>	作成者	高橋 幸治
建築面積	838 m <sup>2</sup>	確認日	2018年9月20日
延床面積	2,436 m <sup>2</sup>	確認者	高橋 幸治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 85%  
③上記+②以外の 85%  
④上記+ 85%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存建物の色相と緑地を増築建物の四方に取り込み一体感を持たせました。</li> <li>建物の各室もスペースに余裕を持たせ間取りや机配置変更に対応できるようにしました。</li> </ul>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>外壁、屋根に断熱材を施し、空調設備の負荷を低減しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署の執務スペースや会議室、応接室スペースにゆとりを持たせました。</li> <li>執務スペースの床は、OAフロアとし、机の配置変更の自由を高めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設の建物、社の周囲又、増築建物道路側正面に緑を多く配置し、地面の熱反射を抑え、建築物への影響を低減しました。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>オール電化により排気ガス削減に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既設の緑地も含めた緑化計画とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東側道路を隔てた住戸に対して、熱光の反射を防ぐガラスとして近隣に配慮します。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0084

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	宮崎機械システム株式会社 本社増築					
		建設地	大阪府貝塚市新井1-1,2-1、半田27-1、鳥羽288-1の各一部					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.7	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								